

病院指標 集計条件について

1. 全指標共通項目の定義

(1) 集計対象

- ・平成 27 年度（平成 27 年 4 月 1 日～平成 28 年 3 月 31 日）に退院した患者のうち、一般病棟に 1 回以上入院した患者
- ・入院後 24 時間以内に死亡した患者又は生後 1 週間以内に死亡した新生児、臓器移植に関する患者は集計対象外

(2) 患者数

- ・1 回の入院を患者数 1 としてカウント
- ・10 未満の数値の場合は、-（ハイフン）を記入

(3) 在院日数

- ・入院日から退院日までの日数

例：平成 27 年 4 月 1 日に入院し、平成 27 年 4 月 3 日に退院した患者の在院日数は 3 日

(4) 年齢

- ・入院日時点の満年齢

2. 個別項目の定義

(1) 年齢階級別患者数

- ・年齢階級別（10 歳さざみ）の患者数
- ・年齢階級は 90 歳以上を 1 つの階級として設定

(2) 診断群分類別患者数等（診療科別患者数上位 3 位まで）

- ・各診療科別に患者数の多い順に DPC コード、DPC 名称、患者数、自院の平均在院日数、全国の平均在院日数、転院率、平均年齢、解説を示す
- ・患者用パスは任意の掲載となっており、当センターでは現在検討中
- ・退院時の診療科で集計
- ・「転院率」については、退院先が「他の病院・診療所への転院」の患者をカウントし、転院患者数／全退院患者数を転院率とする

(3) 初発の 5 大癌の UICC 病期分類^{※1} 別ならびに再発患者数

- ・5 大がんとは日本でのがんの罹患や死亡が顕著である胃がん、大腸がん、乳がん、肺がん、肝がんのことを指す
- ・初発患者は UICC の TNM 分類から導き出される病期分類の Stage が I から IV の患者数を集計
- ・各がんにおいて、病期分類の Stage の判定には UICC 病期分類第 7 版を使用
- ・TNM 分類が不明等で病期分類の Stage を導き出せず不明となる場合には、「不明」としてカウント
- ・病期分類の Stage が「O」のものは集計対象外
- ・再発患者は 5 大がんの再発患者数を集計

※1 国際対がん連合（UICC）の定める TNM 分類（腫瘍の広がり、リンパ節への転移、他の臓器への転移）に基づきがんの病期（ステージ）が決定される。

(4) 成人市中肺炎の重症度別患者数等

- ・入院の契機となった傷病名（入院のきっかけとなった傷病名）および最も医療資源を投入した傷病名が肺炎、急性気管支炎、急性細気管支炎等（ICD10コードはJ13～J18\$）であり、20歳以上の市中肺炎（入院後発症の肺炎を除く）の患者が対象
- ・重症度別に患者数、平均在院日数、平均年齢を示す
- ・重症度分類は、A-DROPスコア^{※2}を用いる
- ・重症度分類の各因子が一つでも不明な場合は「不明」と分類

※2 A-DROPスコアとは

日本呼吸器学会の成人市中肺炎診療ガイドラインに掲載されている肺炎重症度分類の定義。

- ① Age（年齢）男性 70 歳以上、女性 75 歳以上
- ② Dehydration（脱水）Bun21mg/dL 以上または脱水あり
- ③ Respiration（呼吸状態）SpO2 \leq 90%（PaO260Torr 以下）
- ④ Orientation（意識障害）意識障害あり
- ⑤ Pressure（収縮期血圧）収縮期血圧 90mmHg 以下

⇒5点満点で、1項目該当すれば1点、2項目該当すれば2点。

(5) 脳梗塞のICD10^{※3}別患者数

- ・脳梗塞のICD10別の患者数、平均在院日数、平均年齢、転院率を示す
- ・最も医療資源を投入した傷病名のICD10（G45\$, G46\$, I63\$, I65\$, I66\$, I675, I679）別に集計
- ・発症日から「3日以内」「その他」に分けた数値を示す
- ・「転院率」については、退院先が「他の病院・診療所への転院」の患者をカウントし、転院患者数/全退院患者数を転院率とする

※3 ICD10…国際疾病分類第10版

(6) 診療科別主要手術別患者数等（診療科別症例数上位3位まで）

- ・診療科別に手術件数の多い3術式について、患者数、術前日数、術後日数、転院率、平均年齢を示す
- ・患者用パスは任意の掲載となっており、当センターでは現在検討中
- ・入院中に行った手術のうち、1番最初に施行した手術のみをカウント
- ・輸血関連（K920\$）、創傷処理、皮膚切開術、非観血的整復術、徒手整復術、軽微な手術、およびすべての加算は除外
- ・術前日数は入院日から手術前日までの日数
- ・術後日数は手術翌日から退院日までの日数
- ・「転院率」については、退院先が「他の病院・診療所への転院」の患者をカウントし、転院患者数/全退院患者数を転院率とする

(7) その他（DIC、敗血症、その他の真菌症および手術・術後の合併症の発生率）

- ・最も医療資源を投入した傷病名が播種性血管内凝固症候群（DIC）、敗血症、その他の真菌症、手術・術後の合併症について、全退院患者数に対する発生率を示す
- ・入院の契機となった傷病名（入院のきっかけとなった傷病名）と最も医療資源を投入した傷病名が同一かどうかを区別して症例数をカウント